

500g Caffeine and Sodium Benzoate

「ケンエー」安息香酸ナトリウムカフェイン

安息香酸ナトリウムカフェイン

強心剤

【使用上の注意】

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - 胃潰瘍又はその既往歴のある患者〔胃液分泌を促進するため、悪影響を及ぼすおそれがある。〕
 - 心疾患のある患者〔徐脈又は頻脈を起こすことがある。〕
 - 緑内障の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

- 相互作用（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
キサンチン系薬剤 アミノフィリン ジプロフィリン テオフィリン等 中枢神経興奮薬	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	併用薬の代謝・排泄を遅延させることがある。
MAO阻害剤	頻脈、血圧上昇等があらわれることがある。	
シメチジン	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	カフェインの代謝・排泄を遅延させることがある。

- 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
大量投与	振せん、頻脈、期外収縮、耳鳴、不眠、不穏等

- 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦には、長期連用を避けること。〔カフェインは胎盤を通過し、また、母乳中に容易に移行する。〕

- 過量投与

徴候、症状：消化器症状（悪心、嘔吐等）、循環器症状（不整脈、血圧上昇等）、精神神経症状（痙攣、昏睡）、呼吸器症状（呼吸促進、呼吸麻痺等）などの増悪を起こすことがある。

処置：胃洗浄や吸着剤・下剤の投与により薬物を除去し、輸液等により排泄促進を行う。また、興奮状態には対症療法としてジアゼパム注、フェノバルビタール注などの中枢神経抑制薬投与を考慮し、呼吸管理を実施する。

強心剤

安息香酸ナトリウムカフェイン

安息香酸ナトリウムカフェイン「ケンエー」

Caffeine and Sodium Benzoate 500g

製造番号

使用期限

紙箱

袋：PP

強心剤

安息香酸ナトリウムカフェイン

安息香酸ナトリウムカフェイン「ケンエー」

Caffeine and Sodium Benzoate 500g

※規制区分：劇薬
貯法：密閉容器
室温保存

健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 06(6231)5626

※2017年2月改訂（第2版）
2000年9月改訂

日本標準商品分類番号 872115

承認番号	薬価収載	販売開始	再評価結果
(60AM)1830		1985年7月	1998年3月

【組成・性状】

【組成】

1g中 日局安息香酸ナトリウムカフェイン 1g含有。

【性状】

白色の粉末で、においはなく、味は僅かに苦い。

【効能・効果】

ねむけ、倦怠感、血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛（片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛など）

【用法・用量】

安息香酸ナトリウムカフェインとして、通常成人1回0.1～0.6gを1日2～3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈調剤包装単位用コード〉

0111111101111

〈販売包装単位用コード〉

0111111101111

n 6 - 1

2 9 0 2

0 1 1 7 0 2